

図画工作科学学習指導案

第4学年

【題材】ぐんまの海（造形遊び）

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートの形を変える際の自分の感覚や行為を通して、ブルーシートの動きやしわの形の感じが分かる力 (共 (1) ア) ・手や体全体の感覚を働かせてブルーシートの動きやしわの形の特徴を生かしながら自分の思いに合わせて工夫する力 (A (2) ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートの形を変え、手や体全体で感じ取ったよさや美しさを基に、ブルーシートの大きさや活動場所の広さなどを基に造形活動を考える力 (A (1) ア) ・ブルーシートの動きやしわの形の特徴を基に、自分なりの思いを膨らませる力 (共 (1) イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートの動きやしわの形を変える造形遊びの楽しさを味わい、自らの意味や価値を創造しようとする態度
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールを用いた造形遊びでは、段ボールの切り方やつなげ方を工夫したり、切ってきた形から思い付いたものをつくったりできている。 ・体全体をつかって対象や事象に関わることが十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びに取り組む中で対象や事象との関わりを通して、自分のイメージを広げ、思い付いたことを基に活動を工夫することができる。 ・自分自身が大きく移動して対象や事象に関わることでイメージを広げたり、思いをもったりする経験が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動に取り組む中で自他が感じた楽しさを伝え合うことや、他者が自分の活動に影響し合っていることを楽しむもうとする経験が十分でない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県は内陸に位置しているため、実際に海はない。そのため子どもたちは「もし群馬県に海があったらどんな海だろう」という問いから、これまでの経験を基にした自分なりの海に対するイメージを想起する。そして「ぐんまの海」の状態や波の高さのイメージをより具体的にしたり、それらと自分との関わり方（海上や海面、海中などの自分と海の位置の関係。泳ぐ、潜る、浮かぶ、流される、巻き込まれる、眺めるなどの海と自分の行為の関係）を考えたりできる。本題材では、「ブルーシート（青色のポリエチレン製シート）」の1200番を用いる。ブルーシートは可塑性が低いため、連続して力を加えることで、海の流動的なイメージを基に発想や構想を繰り返すことに適している。また1200番のブルーシートは、1200番より番数大きいブルーシートと比べ、比較的軽量で広げたブルーシートの広い範囲を子どもが持ち上げることができる。また1200番より番数が小さいブルーシートと比べ、生地が厚いため、しわの形を集めると高さを維持したまま形を維持しやすいという特徴がある。 ・1200番のブルーシートを用いることは、子どもがブルーシートを手でもってなびかせて動きをつくったり、体全体で関わることで広い範囲の形を変えたりすることができ、様々な形の変え方を工夫できるとともに形に対する感じ方が分かることにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短辺が180mmのブルーシートを配置することや学習過程に応じて活動場所の広さを設定することは、子どもの海の大きさや流動的なイメージを広げることにつながり、自分のイメージと実際の造形活動を関連付けながらブルーシートの形を変える活動を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシートの大きさや活動場所の広さを設定することは、互いの造形活動を自然と見合うことにつながり、互いの造形活動が影響し合っていることや偶然できたブルーシートの動きやしわの形を楽しむことができる。
見方・考え	ブルーシートの動きやしわの形を工夫しながら、自分「ぐんまの海」のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと。		
今後の学習	5年「風 見える化大作戦」で風を感じる場所の特徴から、場所に適した材料を使って活動を考える造形遊びの学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	ブルーシートの動きやしわの形の感じが分かるとともに、自分なりのイメージをもってブルーシートの動きやしわの形を工夫することを楽しむことができる。		
評価 規準	(①知・技)ブルーシートの動きやしわの形の感じが分かるとともに、手や体全体を働かせてブルーシートの動きやしわの形を工夫している。 (②思・判・表)ブルーシートの大きさや活動場所の広さなどを基にブルーシートの動きやしわの形を変えながら、自分なりのイメージをもって活動を考えたりしている。 (③主体的態度)ブルーシートの動きやしわの形をつくる活動を工夫しながら造形遊びをする活動を楽しもうとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
であ う	2	○ブルーシートの形の変え方を試し、自分なりの「ぐんまの海」のイメージを広げ、関わり方に対する思いをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習のめあて 「ぐんまの海」とは、どんな海でどんなことができるだろう </div>	○ブルーシートの動きやしわの形などの造形的な視点を得て、造形遊びに対する自分なりの思いを膨らませることができるよう、自他の「ぐんまの海」に対するイメージを伝え合う機会を設定する。 ◇「ぐんまの海」に対する自分のイメージを基に、自分を取り組みたいブルーシートの使い方を発言したり、試したりしている。 <発言・行動③>
ひろ げる・ あら わす	2	○「ぐんまの海」に対するイメージや関わり方を基にブルーシートの形の変え方を工夫する。(本時1/2時)	○体全体を十分に働かせながらブルーシートの形を変える活動に取り組めるよう、体育館内に180mm×3000mmのブルーシートを配置する。 ◇ブルーシートの動きやしわの形を変化させながら、つくり、つくりかえることを繰り返している。 <発言・行動①>
ふり か え る	1	○互いの造形活動を鑑賞し、振り返る。	○互いの活動からよさや美しさに気付けるよう、感じたことを伝え合う機会を設定する。 ◇つくりだした「ぐんまの海」の楽しさ、よさや美しさについて発言したり、記述したりしている。 <発言・記述①②③>

本時の学習（3／5時間目）

ねらい 「ぐんまの海」に対するイメージを広げながら、ブルーシートの形を変える活動を通して、ブルーシートの動きやしわの形の感じ方が分かるとともに、手や体全体を働かせてブルーシートの動きやしわの形を工夫できる。

評価項目 **ブルーシートの動きやしわの形をつくることを試している。**

<行動①>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は図工室でいろいろな「ぐんまの海」を試したのだったな。群馬は風が強いから、私たちの班はブルーシートを強く動かしてはげしい波をつくって流されるような遊びをしたよ。 ・ブルーシートの大きさが前の時間より大きいから、もっと大きな波をつくったり、大胆な遊び方を考えたりしたいな。 （目的意識） 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に広がった「ぐんまの海」に対するイメージを想起できるよう、前時に記録した本時に取り組みたいことを振り返るようを促す。 ○本時に取り組みたいことへの見通しがもてるよう、ブルーシートの大きさや活動場所の広さを前時と比較するよう促し、本時で表したい「ぐんま海」に対するイメージと関わり方について問いかける。
<p>めあて：「ぐんまの海」をつくって、遊んでみよう</p>	
<p>2 自分なりの「ぐんまの海」をつくったり、関わり方を考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくて激しい波をつくりたいから、何人かでブルーシートを動かしてなびかせたら、大きい波をつくれそうだな。ブルーシートが大きいから激しい動きをつくるのが難しいよ。人同士の間隔を空けて動きが全体に伝わるようにすると、より激しい波がつくれそうだな。 ・ブルーシートの上に乗ってみたらサーフィンをしている感じになりそうだな。上に乗って波を感じてみよう。 ・上に乗ると迫ってくる波が面白いな。波をつくっている時にブルーシートの下に潜ってみたら海の中にいるみたいだな。それに上に乗っている時より、迫ってくる波が間近に感じて迫力があったよ。 ・ブルーシートの下に潜ったら、海の中にいる感じが面白かったよ。友達も同じように感じていたみたいだけど、波に合わせて泳いでるように遊んでいたよ。他の班はどのように遊んでいるのかな。 ・他の班では、ブルーシートを渦みたいな形にして、その上に乗って遊んでいたよ。私たちの班でも、渦をつくってみよう。そして渦の波の下に潜ったらどのように感じるかも試してみたいな。 ・友達と協力してブルーシートをなびかせて遠くまで届くような大きな波をつくったり、ブルーシートで渦みたいな形をつくって中に入ったりしたよ。 （目的を達成した意識） 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ぐんまの海」のイメージとブルーシートの動きやしわの形を関連させながら活動できるよう、イメージする波の高さや「おだやかな感じ」「はげしい感じ」などの海の様子やブルーシートの形の変え方を問いかける。 ○「ぐんまの海」との関わり方を意識できるよう、海上や海面、海中などの自分と海の位置関係や泳ぐ、潜る、浮かぶ、流される、巻き込まれる、眺めるなどの海と自分の行為の関係を問いかける。 ○ブルーシートの動きやしわの形のよさや美しさに気付けるよう、ブルーシートの上に乗る、下に潜る、しゃがんで見るなどのブルーシートを見る高さや角度を試すことを促し、気付いたことや感じたことを問いかける。 ○「ぐんまの海」に対する新たなイメージや関わり方を自覚できるよう、ブルーシートの動きやしわの形から感じた関わり方の共通点や相違点を問いかける。 ○他の班の活動からブルーシートの動きやしわの形のよさや美しさに気付けるよう、他の班の活動を鑑賞してもよいことを伝える。
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きな波でも海の上から見るのと下からみるのでは感じ方が違うのだな。私は下に潜ってみる方が迫力のある波が感じられて好きだったよ。 ・次の時間は、今日見られなかった他の班の「ぐんまの海」をみてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時で取り組んだことから自分なりの意味や価値を自覚できるよう、イメージした「ぐんまの海」や関わり方を記述できている子どもの振り返りを取り上げ、称賛する。 ○次時の活動の見通しがもてるように、本時の活動の課題などを基に次時に取り組みたいことの発表を促す。